

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	146 花と緑の美化活動事業									
予算科目	01-030110-12 コミュニティ推進に要する経費					担当部課	市民部市民協働課			
市長公約						係名	市民協働係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	一部委託			
個別計画	第5次つくば市きれいなまちづくり行動計画 第3次つくば市環境基本計画					事業期間	毎年度			
根拠法令等						SDGs	17パートナーシップで目標を達成しよう			

事業の概要

対象	市民
目的	まちの環境美化意識を高めるとともに地域コミュニティの活性化を図る。
概要 (取組内容)	事業参加団体へ花苗配布を春と秋に行い、各地域の公共的な空間を季節の花で飾り花壇を維持管理することで、市内の環境美化を行い、来訪者への歓迎の気持ちを発信するとともに、地域活動拠点の可視化と地域コミュニティの活性化を進める。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	4,964	4,999	4,177	4,665	4,665	
	決算額	(千円)	4,533	2,334	2,977	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	4,533	2,334	2,977	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,149	4,245	6,272	6,272	6,272	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.60	0.60	0.90	0.90	0.90
		正職員時間外勤務	(時間)	20.00	65.00	23.00	23.00	23.00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	無	有	有	無	

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ、広報つくば、SNS（市民活動のひろば）、区会回覧による情報発信
企画・立案、計画	－
実行	市民団体や市内の企業、NPO、ボランティア団体等による環境美化活動
評価、検証	活動報告書

指標の推移

1	指標名	花苗配布団体数 (団体)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	125.0	127.0	140.0	145.0	150.0	155.0
	実績	119.0	129.0	144.0	151.0	164.0	0.0
	指標の概要	各地区の公共的な場所に花を植栽し、花壇の維持管理をする活動に参加する市民活動団体等の数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		花と緑の美化活動事業について市公式フェイスブックページ「つくば市民活動のひろば」を活用し、定期的な情報発信を行った。
成果		事業参加団体による美化活動によって、地域の公共的な空間を季節の花で飾ることができた。
課題	業務	数日に渡る花苗等配布の職員の負担軽減を図る。
	組織、予算等	限られた予算の中で、参加団体を増やし、市内全体に広がる活動となるように工夫する。
改善目標		花苗購入だけでなく、花苗配布も含め業者委託できないかを検討する。参加団体の少ない地域の団体に声掛けして、参加団体を増やしていく。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	147 コミュニティ助成事業										
予算科目	01-030110-12		コミュニティ推進に要する経費					担当部課	市民部市民協働課		
市長公約									係名	市民協働係	
戦略プラン										新規・継続	継続
										事業分類	自治事務（任意）
										事業体制	職員のみ
個別計画								事業期間	毎年度		
根拠法令等								自治総合センターコミュニティ助成事業実施要綱	SDGs	17パートナーシップで目標を達成しよ	

事業の概要

対象	区会
目的	地域のコミュニティ活動の充実・強化を図る。
概要 (取組内容)	（一財）自治総合センターが行う全国自治宝くじの社会貢献広報事業費として受入れる、宝くじの受託事業収入を財源として、コミュニティ活動に必要な備品や集会所の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援や地域の国際化の推進及び活力のある地域づくり等に対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉に寄与する。 申請はつくば市・茨城県経由で行われ、補助金はコミュニティ組織2団体を上限に交付される。 市から事業申請できるコミュニティ組織は、つくば市区会連合会に所属している区会とし、抽選で2区会を決定する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	
	決算額	(千円)	4,900	4,700	2,500	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	4,900	4,700	2,500	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,370	694	694	694	694	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	1.00	5.00	1.00	1.00	1.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	有	有	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ、広報つくば、SNS（市民活動のひろば）による情報発信
企画・立案、計画	－
実行	－
評価、検証	広報つくば紙面にて公表

指標の推移

1	指標名	市から県に申請する申請件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	実績	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0	0.0
	指標の概要	コミュニティ助成金の申請件数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		—
成果		館野区会に助成金が交付され、地域の祭りに関わる備品が整備されたことで、地域コミュニティの支援に寄与することができた。
課題	業務	—
	組織、予算等	—
改善目標		—

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	149 人権擁護事業									
予算科目	01-030110-13 人権擁護に要する経費					担当部課	市民部市民協働課			
市長公約						係名	自治振興係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（義務）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	－					事業期間	毎年度			
根拠法令等	人権擁護委員法、人権教育及び人権啓発の推進に関する法律					SDGs	16平和と公正をすべての人に			
							17パートナーシップで目標を達成しよう			

事業の概要

対象	市民、児童・生徒									
目的	人権尊重思想の普及拡大を図る。市民の人権を守り差別のない明るい社会の実現を目指す。									
概要 (取組内容)	6月と12月に各2日間特設人権相談所を開設する。 年間を通じて、いじめや差別などの人権問題解消に向け啓発活動を実施する。 人権擁護委員が講師となり、小中学生を対象に人権教室を実施する。 人権啓発イベント（講演会等）を実施する。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	1, 210	1, 182	1, 366	1, 370	1, 370	
	決算額	(千円)	995	1, 140	1, 314	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	995	1, 140	1, 314	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4, 103	4, 126	3, 464	4, 144	4, 144	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0. 60	0. 60	0. 50	0. 60	0. 60
		正職員時間外勤務	(時間)	1. 00	16. 00	4. 00	0. 00	0. 00
		会計年度任用職員有無	(一)	有	有	無	有	無

市民参加の取組状況

共有、理解	－									
企画・立案、計画	－									
実行	－									
評価、検証	－									

指標の推移

1	指標名	人権啓発イベント参加者率 (%)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	86.0	86.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	63.0	116.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	「人権講演会」の参加率（参加人数/募集人数×100）					

2	指標名	人権啓発イベント参加者 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	100.0	150.0	160.0	170.0
	実績	0.0	0.0	153.0	123.0	123.0	0.0
	指標の概要	新型コロナウイルス感染症の影響により、R3年度からYoutube開催としたため、募集人数がなく参加率が算出できないため、指標名を変更しました。					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		「あきらめない心」と題して、日本初の義手の看護師であり、北京・ロンドンパラリンピック競泳日本代表の伊藤真波氏の講演を市公式Youtubeチャンネルにて配信を実施した。
成果		オンライン開催であったため、20代～50代の申込が全体の約8割を占めた。特定の世代に偏らず、幅広い世代に啓発できた。
課題	業務	人権啓発イベント（講演会）は、時代のニーズにあった内容を引き続き検討していく。
	組織、予算等	人権に関する業務は、課内室と連携した業務となり、今後多様化する人権課題に対応するためには、組織の見直しを関係部署と検討していく。
改善目標		人権については繊細なテーマであるため、オンライン開催にした方が参加の敷居が低いと考えられる。また、多忙な現役世代にも空き時間等に気軽に視聴してもらえることから、来年度も引き続きオンライン開催を検討していく。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	150 更生保護事業									
予算科目	01-030110-14 更生保護に要する経費					担当部課	市民部市民協働課			
市長公約						係名	自治振興係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（義務）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	－					事業期間	毎年度			
根拠法令等	保護司法					SDGs	16平和と公正をすべての人に			
							17パートナーシップで目標を達成しよう			

事業の概要

対象	市民									
目的	罪を犯した人たちの更生を助けるとともに、犯罪の未然防止や青少年の健全育成に努め、犯罪や非行のない明るい社会づくりを目指す。									
概要 (取組内容)	つくば市の保護司とつくば市更生保護女性会で構成されるつくば市更生保護連合会の活動を支援する。 つくば地区更生保護サポートセンターの運営を支援する。 「社会を明るくする運動つくば市大会」を開催し、更生保護に関する啓発キャンペーン及び講演会を実施する。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	1,975	2,022	2,014	2,042	2,042	
	決算額	(千円)	1,525	1,702	1,647	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,525	1,702	1,647	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,164	4,150	3,505	4,144	4,144	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.60	0.60	0.50	0.60	0.60
		正職員時間外勤務	(時間)	26.00	26.00	21.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	無	有	無	

市民参加の取組状況

共有、理解	－
企画・立案、計画	－
実行	－
評価、検証	－

指標の推移

1	指標名	啓発活動参加者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	75.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	118.0	0.0	61.0	68.0	82.0	0.0
	指標の概要	「社会を明るくする運動つくば市大会」の参加者数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		犯罪や非行のない明るい社会づくりを目指すため「社会を明るくする運動」をはじめとする更生保護活動について、本庁舎1階の展示スペースやホームページ等を活用して、市民に広く周知することができた。
成果		保護司会及び更生保護女性会が行っている、罪を犯してしまった人の立ち直りの援助や、犯罪予防のための様々な活動について支援ができた。
課題	業務	社会を明るくする運動を通して、犯罪や非行のない明るい社会づくりを目指すため、引き続き市民に広く周知していく。
	組織、予算等	更生保護に関する業務は、更生保護に関係する福祉部門への組織の見直しが必要と考え、関係部署と検討をしていく。
改善目標		保護司会及び更生保護女性会の活動を支援し、「社会を明るくする運動」等を通して更生保護活動を広く周知していく。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	151 非核平和都市宣言事業									
予算科目	01-030110-16 非核平和都市宣言に要する経費					担当部課	市民部市民協働課			
市長公約						係名	市民協働係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等						つくば市非核平和都市宣言	SDGs	16平和と公正をすべての人に		

事業の概要

対象	市民									
目的	非核平和に関する啓発事業等を通じ、市民の平和擁護に対する意識の醸成及び高揚を図る。									
概要 (取組内容)	- 平和体験教室：市内小学5、6年生を対象に、「埼玉ピースミュージアム」を見学し、平和について学習する。 - 青少年ピースフォーラム派遣事業：長崎県長崎市で毎年8月8～10日に行われる、「青少年ピースフォーラム」に市内中学生6名を平和大使として派遣する。 - 平和パネル展：つくば市の平和事業の紹介、原爆資料、核兵器データ、ピースデー、「平和体験教室」「青少年ピースフォーラム」での学習成果を市民文化祭等で展示する。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	457	579	2,817	2,956	2,956	
	決算額	(千円)	105	347	424	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	105	347	424	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,367	2,737	7,720	7,720	7,720	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.40	1.10	1.10	1.10
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	5.00	50.00	50.00	50.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	有	有	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ、SNS（市民活動のひろば）、懸垂幕等による情報発信
企画・立案、計画	－
実行	－
評価、検証	－

指標の推移

1	指標名	平和体験教室参加者数（人）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	50.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
	実績	35.0	0.0	0.0	21.0	17.0	0.0
	指標の概要	市内小学生5・6年生対象の平和体験教室への参加人数 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、令和2・3年度の平和体験教室は中止となった。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		新型コロナウイルスが５類に移行されたことにより、事業の実施に向けて準備を進めた。
成果		青少年ピースフォーラム派遣事業については、４年ぶりに実施に向けて準備を進めていたが、派遣直前に台風接近の影響で、急遽派遣中止となった。代替案として、派遣予定だった中学生を埼玉ピースミュージアムに派遣して平和学習を行い、各自学んだことを各学校にて発表した。平和体験教室についても、市内の小学生を対象に平和学習を実施できた。
課題	業務	５年ぶりの青少年ピースフォーラム派遣事業の実施に向けて、準備を行う。 暑さ対策等参加児童・生徒の体調管理に注意する。
	組織、予算等	学校長会等の関係機関との連携を図りながら、安全に事業を行う。
改善目標		学校長会等の関係機関との連携を図りながら事業を実施するとともに、熱中症など児童・生徒の安全対策を行いながら実施する。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	155 市民チャレンジへの支援											
予算科目	01-030110-20 市民協働推進に要する経費					担当部課	市民部市民協働課					
市長公約							係名	市民協働係				
戦略プラン	I-1	1	1	市民チャレンジへの支援及び相談先の明確化			新規・継続	新規				
	I-1	1	3	地域のコミュニティ拠点の可視化			事業分類	自治事務（任意）				
							事業体制	一部委託				
個別計画							事業期間	毎年度				
							SDGs	17パートナーシップで目標を達成しよう				
根拠法令等	つくば市市民協働ガイドライン											

事業の概要

対象	市民
目的	チャレンジの連鎖が生まれる社会を目指す。住みよい地域社会づくりのため、住民同士が互いに協力できるように支援を行い、地域活動の促進や個性溢れる魅力あるまちづくりを目指す。
概要 （取組内容）	・市民活動団体等の取組を応援し、相談を受けるとともに、市民活動団体等の新たな活動を支援する。 ・日常的な交流の場として気軽に立ち寄りやすい地域のコミュニティ拠点の設立支援や可視化を進める。 ・行政が行う事業を法人や各団体等と協働して行うことで、NPO活動等を活性化させ、より効果的・効率的な事業を展開する。 ・協同労働（労働者協同組合）という新しい働き方の周知を図るとともに労働者協同組合の設立を支援する。 ※令和5年度より新規事業

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	1,000	1,040	5,792	4,784	4,784	
	決算額	(千円)	743	860	4,379	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	743	860	4,379	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,577	6,325	6,442	6,241	6,241	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.80	0.90	0.90	0.90	0.90
		正職員時間外勤務	(時間)	45.00	80.00	93.00	10.00	10.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	有	有	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ、広報つくば、SNS（市民活動のひろば）による情報発信
企画・立案、計画	－
実行	－
評価、検証	－

指標の推移

1	指標名	相談件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	20.0	20.0	20.0	30.0	30.0
	実績	0.0	1.0	27.0	16.0	28.0	0.0
	指標の概要	市民チャレンジへの相談件数（個別施策 I-1-①地域活動と市民チャレンジへの支援 指標1）					

2	指標名	地域コミュニティ活動の拠点数 (箇所)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	5.0	10.0	15.0	20.0	20.0
	実績	0.0	8.0	9.0	9.0	16.0	0.0
	指標の概要	コミュニティ拠点の市ホームページへの掲載数（個別施策Ⅰ-1-①地域活動と市民チャレンジへの支援 指標1）					
3	指標名	団体等との協働事業実施数 (事業)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	87.0	150.0	150.0	150.0	150.0	150.0
	実績	151.0	121.0	130.0	178.0	176.0	0.0
	指標の概要	庁内各課等が市民団体等と連携・協働を図りながら実施している事業数					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		事業の充実を図るため、予算額の増額を行った。引き続き多様化する相談内容に対応するため、専門的知識を有する個人や団体の発掘及び委託契約の可能性について調査・研究を行う。
成果		市公式フェイスブックページ「つくば市民活動のひろば」の情報発信により、多くの地域活動団体との協働関係が強化されるとともに、地域のコミュニティ拠点の可視化に寄与することができた。
課題	業務	市民活動団体等の取組や労働者協同組合の設立を支援するため、相談体制を拡充する必要がある。
	組織、予算等	引き続き多様化する相談内容に対応するため、職員の知識向上や外部委託の必要性について検討する必要がある。
改善目標		市民活動に関心のある方を増やし、同時に新たな地域の課題に取り組む団体等が継続的に運営可能な支援方法の調査・研究を行う。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	157 アイラブつくばまちづくり補助金事務									
予算科目	01-030110-20 市民協働推進に要する経費					担当部課	市民部市民協働課			
市長公約	7-2					係名	市民協働係			
戦略プラン	I-1	1	4	アイラブつくばまちづくり補助金による市			新規・継続	継続		
							事業分類	自治事務（任意）		
							事業体制	補助金（直接）		
個別計画						事業期間	毎年度			
						SDGs	17パートナーシップで目標を達成しよう			
根拠法令等	つくば市アイラブつくばまちづくり補助金交付要綱									

事業の概要

対象	市民活動団体									
目的	個性豊かで活力あるまちづくりの実現を目指すため、市民主体の公益的な活動を応援する。									
概要 （取組内容）	アイラブつくばまちづくり寄附基金を活用し、年3回の募集期限を設け、補助金を希望する団体の実施予定の事業に対して、ヒアリング審査を実施の上、可否を決定する。 事業実施後に実績報告により採択事業の評価を行う。 毎年9月には、「アイラブつくばまちづくり寄附基金」に寄付をいただいた方々へ感謝状の贈呈や、アイラブつくばまちづくり補助事業実践団体に実践団体証の交付、活動事例発表や市民活動の課題解決に向けた講演会を中心に「アイラブつくばまちづくりフォーラム」を開催する。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	6, 275	6, 144	6, 472	6, 690	6, 690	
	決算額	(千円)	784	1, 671	1, 107	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	784	1, 056	847	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	615	260	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7, 620	6, 933	7, 198	7, 126	7, 126	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1. 10	1. 00	1. 00	1. 00	1. 00
		正職員時間外勤務	(時間)	42. 00	50. 00	120. 00	90. 00	90. 00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	有	有	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	補助金採択事業数 (事業)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	24.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0
	実績	30.0	19.0	22.0	31.0	32.0	0.0
	指標の概要	(個別施策 I-1-①地域活動と市民チャレンジへの支援 指標1)					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		市公式フェイスブック「市民活動のひろば」の取材時に、今後の展望や事業自立に向けた話し合いを行った。
成果		アイラブつくばまちづくり寄附基金を有効活用し、市民活動団体等から自主的に提案された事業に対し、補助金を交付するとともに、担当部署の協力により事業自立に向けた支援を行うことができた。
課題	業務	「アイラブつくばまちづくり補助金募集要領」を一部改正し、明確化した。また、申請者記入欄の利便性を向上させると共に事務量の削減を図るため、様式の一部を変更した。検証は今後実施していく。
	組織、予算等	
改善目標		「アイラブつくばまちづくり補助金募集要領」の一部改正や、様式の一部の変更について、申請者の利便性や事務量の削減に資することができたか検証していく。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	034 地域を支える人材づくり									
予算科目	01-030110-17 自治会関係に要する経費					担当部課	市民部市民協働課			
市長公約	10-1					係名	自治振興係			
戦略プラン	I-1	2	2	地域を支える人材づくり			新規・継続	継続		
							事業分類	自治事務（任意）		
							事業体制	職員のみ		
個別計画	－					事業期間	毎年度			
根拠法令等	－					SDGs	16平和と公正をすべての人に			
							17パートナーシップで目標を達成しよう			

事業の概要

対象	市民
目的	市民と行政との意思疎通を図り、地域コミュニティ活動の活性化を目指す。
概要 (取組内容)	市長・区長サミット及び地区リーダー勉強会を実施する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	283	356	581	666	581	
	決算額	(千円)	0	330	478	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	330	478	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,712	1,716	1,382	1,727	1,727	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.25	0.25	0.20	0.25	0.25
		正職員時間外勤務	(時間)	1.00	5.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	無	有	無	

市民参加の取組状況

共有、理解	－
企画・立案、計画	－
実行	－
評価、検証	－

指標の推移

1	指標名	人材づくりイベントの参加者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	地区リーダー勉強会の参加者数（個別施策 I-1-②区会加入及び新規区会設立促進と活動支援 指標1）					

2	指標名	人材づくりイベントの参加者数 (視聴数)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	600.0	600.0	600.0
	実績	0.0	0.0	0.0	774.0	299.0	0.0
	指標の概要	新型コロナウイルス感染症の影響により、R4年度からYoutube開催としたため、単位を視聴数に変更しました。					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		「令和・アフターコロナの自治会運営と共助コミュニティ活性化」と題して、合同会社フォーティR&C代表 地域活性化・まちづくりコンサルタントの水津陽子氏の講演を市公式Youtubeチャンネルにて配信を実施した。
成果		市長・区長サミットについては、テーマを「持続可能な自治会運営」として3区会からの事例発表、市長との意見交換が実施できた。また、地区リーダー勉強会については、昨年度の数値を下回ったが、区長に限定せず配信したため、多くの区長及び区会会員に参加（視聴）していただくことができた。
課題	業務	各地域のコミュニティ活動をより活性化するため、地域社会のリーダーである区長へ向けた勉強会（講演会等）の内容を引き続き検討していく。
	組織、予算等	市区会連合会及び各地区区会連合会と連携して事業を進めていく。
改善目標		地区リーダー勉強会に関しては、特に多忙な現役世代の区長にも空き時間等に気軽に視聴してもらえることから、来年度もオンライン開催を検討していく。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	152 区会活動振興事業										
予算科目	01-030110-17 自治会関係に要する経費					担当部課	市民部市民協働課				
市長公約	10-1						係名	自治振興係			
戦略プラン	I-1	2	3	区会運営に対する支援			新規・継続	継続			
	I-1	2	4	区会の負担軽減			事業分類	自治事務（任意）			
	I-1	2	1	区会加入及び新規区会設立促進			事業体制	一部委託			
個別計画	－						事業期間	毎年度			
根拠法令等	－						SDGs	16平和と公正をすべての人に			
								17パートナーシップで目標を達成しよう			

事業の概要

対象	市民
目的	地域コミュニティ活動を支援するとともに、地域の活性化を図る。
概要 (取組内容)	区会に対して行政文書の配布回覧を委託し、行政情報を周知する。 区会活動の紹介や加入促進活動などで日頃から助けあえる地域コミュニティの大切さを啓発する。 区会から申請を受け、地区集会所建築等補助金交付要綱に基づき、集会所の新築・増改築・修繕に対し補助を行う。 ※修繕に、令和5年度当初予算主な事業の概要「地区集会所建築等補助事業（Wi-Fi設備工事）」を含む。 老朽化した地区案内板を撤去する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	146,617	144,035	163,022	147,680	147,680	
	決算額	(千円)	140,964	141,863	152,560	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	140,964	141,863	152,560	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	10,597	10,842	6,227	10,705	10,705	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.55	1.55	0.80	1.55	1.55
		正職員時間外勤務	(時間)	2.00	117.00	289.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	無	有	無	

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	区会加入促進及び新規区会設立啓発業務数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0
	実績	0.0	3.0	8.0	9.0	9.0	0.0
	指標の概要	(個別施策 I-1-②区会加入及び新規区会設立促進と活動支援 指標1)					

2	指標名	(件)					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	(件)					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	(件)					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	(件)					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		現在、行政文書の回覧等を各区会へ業務委託としているが、電子回覧への制度の変更に向け、つくば市区会連合会と協議していく。
成果		電子回覧の実証実験を48区会で実施した。紙回覧では、市から届く回覧文書を受け取る担当者（区長・役員・班長等）に負担が集中していたが、電子回覧にすることで、その負担を軽減することができた。また、地区集会所の建築等補助金については、新築1件、修繕等54件の補助金を交付し、区会活動の支援ができた。
課題	業務	持続可能な区会活動を推進するため、区会加入促進や区会業務の負担軽減を引き続き検討していく。
	組織、予算等	市区会連合会及び各地区区会連合会と連携して事業を進めていく。
改善目標		区会加入促進については、TX沿線を中心に引き続き検討していく。また、現在行政文書の回覧等を各区会へ業務委託としているが、電子回覧への制度の変更に向け引き続き検討していく。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	－